

平成 28 年度 北小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

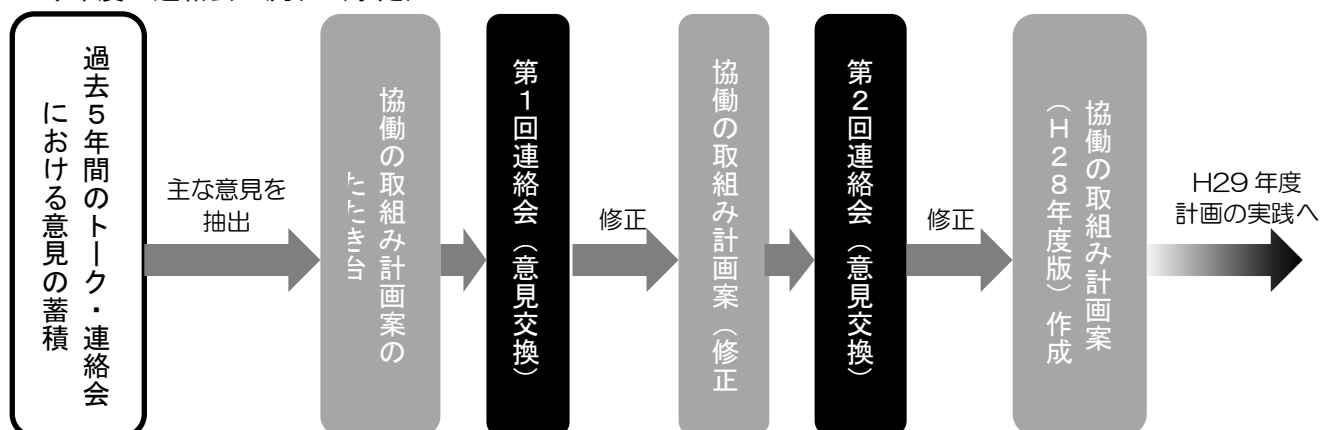
11月18日（金）に開催された「北小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日 時	平成 28 年 11 月 18 日（金）19:00～20:45		
会 場	市民体育館		
参加団体 (19名)	一番町町内会 中央町2区町内会 合同宿舎文教住宅自治会 文教町2丁目自治会 加茂川町2区自治会 シャルマンコーポ町内会	壺町田1丁目自治会 シャリエ三島壺町田自治会 北幼稚園 北小学校 北中学校 子ども会連合会	北小学校支援地域本部 体育振興会 ぎおんクラブ 地域包括支援センター三島

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、各団体が地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

団体	情報交換の概要
北小学校支援地域本部	<p>■支援地域本部設立とボランティア募集のお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 北小学校では、今年度、学校支援地域本部を立ち上げました。 チラシを小学校区全戸に配布し、ボランティア（北っ子サポーター）を募集しています。 現在、北っ子サポーターは15名ほどです。 北っ子サポーターは、環境整備として、屋外の清掃などを行っていますが、今後は校舎内の清掃や本の読み聞かせなどに活動を広げていきたいと考えています。 北小生の登下校時の安全を見守ってくださる「防犯ボランティア」も募集しています。ぜひ、ご協力ください。
子ども会連合会	<p>■子ども会への参加のお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域での子どもたちの「たて」のつながりが少なくなっています。異年齢の子どもたちのつながりである「子ども会」への参加、協力をお願いします。
シャリエジュニア子ども会 （自治会長が代理で紹介）	<p>■資源回収の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会の資金集めのため、古紙やアルミ缶を対象とした資源回収に取り組んでいます。 子ども会の会員が減少しているため、今年度から子ども会を卒業した中高生にもボランティア登録してもらい、参加できる時には手伝ってもらっています。



意見交換のまとめ

■キャッチフレーズの投票結果

第1回連絡会でいただいた意見を踏まえて事務局が作成した「こんな小学校にしたい」（キャッチフレーズ）の案について、投票を実施しました。

案①	手と手をつなぎ あいさつで 笑顔あふれる 北小学校区	9
案②	誰もがあいさつしあう 人の輪を大切にする 北小学校区	10

投票の結果、「こんな小学校にしたい」（キャッチフレーズ）は以下の通りとなりました。

誰もがあいさつしあう 人の輪を大切にする 北小学校区

■「具体的な取組み」の投票結果

協働の取組み案に掲載している「取組みたいこと」について、右記の3つのポイントで投票していただきました。投票の結果は以下の通りです。

＜投票のポイント＞

- ①「やってみたい」と思う取組
- ②課題を解決するために重要な取組
- ③実現できそうな取組

※●の数が投票数を表します。

A 子どもを対象とした防災訓練をしよう		やりたい	重要	できそう
A-①	中学生が参加できるように夜の防災訓練を実施できないか検討する。		●	
A-②	子どもが体験できる防災訓練種目を取り入れる。	●	●	
A-③	地域の人々の顔を知るため、親子当てクイズやおじいちゃんの名前当てクイズなど楽しめる企画を取り入れる。			
A-④	子どもに役割を与えることで子どもを引き込み、親を引き込み、周りの人を引き込む。		●	
A-⑤	子どもと大人が炊き出しをする。	●●●●● ●●	●●	
A-⑥	防災訓練の日程は、学校行事やスポーツ少年団、部活動などの日程と年間スケジュールなどを作成して調整する。		●●●●	

B 地域住民同士がきずなを深める具体的な取り組みを進めよう		やりたい	重要	できそう
B-①	幼稚園や学校を活用して地域とのふれあいの機会を増やす。			●
B-②	競技に出場しなくても <u>参加しやすくする。</u>		●●	
B-③	町内同士が合併して参加する（役員が少なくて済む）。	●		
B-④	楽しい反省会をする（子どもは食事会、大人は飲み会）。	●●		
B-⑤	町内会の垣根を超えた行事をやる。	●	●●●	
B-⑥	他の町内会の行事を小学校区全体に知らせる。	●	●●	
B-⑦	町内会の行事（もちつき大会、ビンゴ大会、どんど焼きなど）を活性化する。	●●	●	●●
B-⑧	イベントなどの企画・募集・宣伝を他の自治会と協力してやる。			
B-⑨	地域安心サポーター養成講座を実施する。		●	
B-⑩	婦人会を立ち上げる。		●	●

C 地域の防災意識を高めよう		やりたい	重要	できそう
C-①	大学生・中学生が主体となって、行政とは別の考え方で防災に取り組む。			
C-②	Jr. レスキュー隊に高校生に参加してもらう。	●	●●	
C-③	楽寿園でのウォークラリーのテーマを「防災」にして参加者を増やすなど、 <u>地域のイベントで防災の要素を取り込む。</u>	●		●●●
C-④	地域に住む大学生に住民登録をしてもらい、防災訓練への意識を高める。		●	
C-⑤	大学内に地域担当のセクションをつくってもらい、地域にかかわってもらう。	●		
C-⑥	学校の防災学習会に地域住民が参加する。 <u>また、家族や親子で参加できる工夫をする。</u>	●●●	●	●●●●
C-⑦	<u>地域で過去に起こった災害のパネル展示を行い、転入者などの防災意識を高める。</u>		●●	

■投票結果を受けての意見交換

A-⑤ 子どもと大人が炊き出しをする。

●取り組みやすい。実際にやってみたい。

- ・交流しやすい。
- ・早速取り組みたい。
- ・大人も子どももできる。
- ・やりたいし、できそう。
- ・実行しやすそう。

●すでにやっている(シャルマンコーポ)

- ・シャルマンコーポでは、ジュニアレスキュー隊を結成して子どもたちと炊き出し訓練を実施している。参加率も上がった。

●楽しくできそう

- ・地区ごとに食べ比べしたらおもしろい。
- ・子どもが結構たのしむと思う。

A-⑥ 防災訓練の日程は、学校行事やスポーツ少年団、部活動などの日程と年間スケジュールなどを作成して調整する。

- ・スポーツ少年団などは公式戦が優先されてしまう。
- ・各団体との調整は重要だ。

B-① 幼稚園や学校を活用して地域とのふれあいの機会を増やす。

●危険な場所や変質者の情報を地域と学校で共有したい

- ・変質者が出たときに防犯情報を地区に知らせたい。
- ・地域の危険箇所を地域で共有する機会があるとよい。
- ・小学校の防災学習会の帰りに地域住民、保護者、子どもと一緒に危険箇所を点検できるとよい。
- ・他の幼稚園の中には、危険箇所マップを作っているところもある。

B-③ 町内同士が合併して参加する(役員が少なくて済む)。

●自治会の規模が小さいので、合同でもよい

- ・北小学校区は、自治会が多いので、他の小学校区と比べて1つ1つの自治会が小さい。
- ・町内同士が合同でやることもよいのではないかと、

B-⑦ 町内会の行事(もちつき大会、ビンゴ大会、どんど焼きなど)を活性化する。

●きずなを深めるために行事・イベントは効果があるが、予算の問題がある。

- ・まずは、各町内会できずなを深めることが大切。
- ・予算限定あり。費用対効果の視点も重要(お金をかけすぎない)
- ・子供会が中心となって、どんど焼きやもちつき大会を17年間継続している。町内の行事としてお金をかけすぎず、工夫すべき。
- ・毎年バス旅行を開催しているが、今年はバス旅行をやめて防災訓練の後にバーベキューを開催した。盛況だったが、予算の問題がある。(シャルマンコーポ)
- ・文教町の餅つき大会を見学させてもらったが、きずなを深めるのによいと思った。

- ・スポーツなどを通じて横のつながりができるとよい。

B-⑩ 婦人会を立ち上げる。

- ・婦人会が高齢化している。
- ・シニアクラブは人材不足になっている。

C-⑥ 学校の防災学習会に地域住民が参加する。また、家族や親子で参加できる工夫をする。

●親子で参加できるとよい

- ・子ども会の行事以外では親子で参加することが少ないので、学校の防災学習会にも親子で参加できるとよい。
- ・幼稚園児も一緒に参加できると良い。
- ・今年の防災学習会は、授業参観日（平日）に自治会ごと集まって話し合っていてよかったが、休日の方が保護者が参加しやすい。
- ・土曜参観の日に合わせて防災学習会を開催できないか検討したい。（北小学校）

●地域住民にも参加してもらいたい

- ・7/8の防災学習会では、地域の方にもご協力いただいた。
- ・子どもと保護者と地域と一緒に通学路を歩いて安全確認できるとよい。
- ・地域住民が参加しやすくなるとよい。
- ・避難所運営訓練では、参加者が昨年の20人から今年は40人に増加した。今後も増えていくとつながりが増す。

